

鹿児島工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	情報処理 I
科目基礎情報						
科目番号	5101		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	都市環境デザイン工学科		対象学年	2		
開設期	前期		週時間数	2		
教科書/教材	情報リテラシー Windows11&Office2021対応, FOM出版, 他プリント					
担当教員	山本 聡					
到達目標						
本科目は計算機システムに慣れ親しむとともに、MicroOffice Word(文章作成ソフト)とExcel(表計算ソフト)基本的な操作方法を習得することを目的とする。また、それらの利用方法および使用上の注意点を、今後のPC利用の基礎知識として活用できるようにする。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
MS-Wordの操作方法を理解し、文章の入力ができる。	MS-Wordの操作方法を理解し、あらゆる機能を駆使して、ブラインドタッチで文章の入力ができる。		MS-Wordの操作方法を理解し、文章の入力ができる。		MS-Wordの操作方法を理解しているが、文章の入力ができない。	
MS-Excelの操作方法を理解し、関数を利用した表計算、グラフ作成ができる。	MS-Excelの操作方法を理解し、あらゆる機能を駆使して、表計算やグラフ作成ができる。		MS-Excelの操作方法を理解し、関数を利用した表計算、グラフ作成ができる。		MS-Excelの操作方法を理解しているが、関数を利用した簡単な表計算やグラフ作成ができない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	本科目は1年次開講のコンピュータリテラシから連続する情報処理系の科目である。情報処理 I では主に文章作成ソフト Wordと表計算ソフトExcelの基本的な操作の修得と活用について学ぶ。その成果を2年生以上の科目や実生活においてPCの活用に発展させてもらいたい。特に本科目の修得内容は、工学実験や卒業研究などレポート・論文の作成には必要不可欠な要素である。					
授業の進め方・方法	授業の進め方：① 各週に設定されたテーマに関する基本操作を教科書に沿って実践する。② 学んだ基本操作と実践に関する考察・感想をレポートにまとめる。					
注意点	① 本科目では授業要目毎に課すレポートの評価の割合を高く設定しているため、提出ルールや提出期限を厳守し確実にレポートを提出すること。② 事情のより授業を欠席する場合は、当該授業の作業内容を自ら実践し翌週にレポートを提出すること。レポートが未提出の場合その評価はゼロになるため注意すること。また私情による欠席と公欠とは評価が異なるため注意すること。③ 本科目は演習を通じて修得する事柄が多いため、積極的に学習に取り組み、疑問点があれば、その都度授業担当者に質問してその疑問点をその場で無くす努力をすること。インターネットなど他のツールを用いて、講義内容を発展させた取り組みも進んで試してもらいたい。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	① シラバスの説明。② ICT実習室の使用について。③ MoodleとMS365について		ファイルの新規作成・保存(上書き保存)ができる。文字の入力ができ、基本的な修飾操作ができる。文字列の書き出し位置を変更できる。罫線・ファイル挿入を利用して文章が作成できる。デジタルカメラから写真を取り込むことができる。プリンタの設定を変えて印刷ができる。	
		2週	ワープロ(MS-Word)について ① Wordについて (Step1) 。 ② 基本的な文章を作成しよう (Step2) 。		ファイルの新規作成・保存(上書き保存)ができる。文字の入力ができ、基本的な修飾操作ができる。文字列の書き出し位置を変更できる。罫線・ファイル挿入を利用して文章が作成できる。デジタルカメラから写真を取り込むことができる。プリンタの設定を変えて印刷ができる。	
		3週	ワープロ(MS-Word) ① 図や表を挿入しよう (Step3) 。 ② 文章を印刷しよう (Step4) 。		ファイルの新規作成・保存(上書き保存)ができる。文字の入力ができ、基本的な修飾操作ができる。文字列の書き出し位置を変更できる。罫線・ファイル挿入を利用して文章が作成できる。デジタルカメラから写真を取り込むことができる。プリンタの設定を変えて印刷ができる。	
		4週	ワープロ(MS-Word) ① 表現力をアップする機能を使ってみよう (Step5) 。		ファイルの新規作成・保存(上書き保存)ができる。文字の入力ができ、基本的な修飾操作ができる。文字列の書き出し位置を変更できる。罫線・ファイル挿入を利用して文章が作成できる。デジタルカメラから写真を取り込むことができる。プリンタの設定を変えて印刷ができる。	
		5週	ワープロ(MS-Word) ① 長文のレポートを編集しよう (Step6) 。（参考）文章を校閲しよう (Step7) 。 数式を入力しよう (参考学習1) 。		ファイルの新規作成・保存(上書き保存)ができる。文字の入力ができ、基本的な修飾操作ができる。文字列の書き出し位置を変更できる。罫線・ファイル挿入を利用して文章が作成できる。デジタルカメラから写真を取り込むことができる。プリンタの設定を変えて印刷ができる。	
		6週	ワープロ(MS-Word) ① 練習問題		ファイルの新規作成・保存(上書き保存)ができる。文字の入力ができ、基本的な修飾操作ができる。文字列の書き出し位置を変更できる。罫線・ファイル挿入を利用して文章が作成できる。デジタルカメラから写真を取り込むことができる。プリンタの設定を変えて印刷ができる。	

		7週	表計算(MS-Excel) ① Excelについて (Step1) . ② 表を作成しよう (Step3) . ③ 表を印刷しよう (Step5) .	ワークシートとセルの概念を理解する。見やすい表の作成をする素養を養う。四則演算・指数の計算方法を理解し使用できる。関数の利用方法を理解し、基本的な関数(SUM, AVERAGE, MAX, MINなど)を使用できる。基礎要素をふまえてグラフの作成ができる。
		8週	表計算(MS-Excel) ① 表を編集しよう (Step4) . ② グラフを作成しよう (Step6) .	ワークシートとセルの概念を理解する。見やすい表の作成をする素養を養う。四則演算・指数の計算方法を理解し使用できる。関数の利用方法を理解し、基本的な関数(SUM, AVERAGE, MAX, MINなど)を使用できる。基礎要素をふまえてグラフの作成ができる。
	2ndQ	9週	表計算(MS-Excel) ① データベースを操作しよう (Step7) . ② 複数のシートを操作しよう (Step8) .	ワークシートとセルの概念を理解する。見やすい表の作成をする素養を養う。四則演算・指数の計算方法を理解し使用できる。関数の利用方法を理解し、基本的な関数(SUM, AVERAGE, MAX, MINなど)を使用できる。基礎要素をふまえてグラフの作成ができる。
		10週	表計算(MS-Excel) ① 関数を使いこなそう (Step9) . ② 関数一覧 (付録)	ワークシートとセルの概念を理解する。見やすい表の作成をする素養を養う。四則演算・指数の計算方法を理解し使用できる。関数の利用方法を理解し、基本的な関数(SUM, AVERAGE, MAX, MINなど)を使用できる。基礎要素をふまえてグラフの作成ができる。
		11週	表計算(MS-Excel) ① ユーザー定義の表示形式を設定しよう (Step10) . ② 条件付き書式を設定しよう (Step11) .	ワークシートとセルの概念を理解する。見やすい表の作成をする素養を養う。四則演算・指数の計算方法を理解し使用できる。関数の利用方法を理解し、基本的な関数(SUM, AVERAGE, MAX, MINなど)を使用できる。基礎要素をふまえてグラフの作成ができる。
		12週	表計算(MS-Excel) ① 高度なグラフを作成しよう (Step12) . ② ピボットテーブルを作成しよう (Step13) . ③ データベースを活用しよう (Step14) .	ワークシートとセルの概念を理解する。見やすい表の作成をする素養を養う。四則演算・指数の計算方法を理解し使用できる。関数の利用方法を理解し、基本的な関数(SUM, AVERAGE, MAX, MINなど)を使用できる。基礎要素をふまえてグラフの作成ができる。
		13週	コンピュータに関する基礎知識 ① 2進数と16進数について (プリント)	ワークシートとセルの概念を理解する。見やすい表の作成をする素養を養う。四則演算・指数の計算方法を理解し使用できる。関数の利用方法を理解し、基本的な関数(SUM, AVERAGE, MAX, MINなど)を使用できる。基礎要素をふまえてグラフの作成ができる。
		14週	コンピュータに関する基礎知識 ① 2進数と16進数について (プリント) . ② 前期末試験について	ワークシートとセルの概念を理解する。見やすい表の作成をする素養を養う。四則演算・指数の計算方法を理解し使用できる。関数の利用方法を理解し、基本的な関数(SUM, AVERAGE, MAX, MINなど)を使用できる。基礎要素をふまえてグラフの作成ができる。
		15週	試験答案の返却・解説	試験において間違った部分を自分の課題として把握する (非評価項目)
		16週		

評価割合

	試験	レポート・演習	授業態度	合計
総合評価割合	50	50	0	100
基礎的能力	0	0	0	0
専門的能力	50	50	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0